



# Governor's Monthly Letter



2016-17年度 国際ロータリー  
第2710地区 ガバナー

**田原 榮一**

GOVERNOR: Eiichi Tahara  
HIROSHIMA CENTER  
ROTARY CLUB

## 「会員増強・新クラブ結成 促進月間によせて」

1907年、ポール・ハリスは、初めてシカゴロータリークラブ三代目の会長の就任に当たり、3つの目的を掲げました。即ち、1) 会員増強、2) 他都市での新クラブ設立、3) 地域社会への奉仕活動です。これが、ロータリーの会員増強・新クラブ結成の始まりです。そして、3年後、ポール・ハリスは、国際ロータリーの初代会長になり、以来ロータリークラブが200以上の国と地域に次々と誕生して、21世紀に入り世界のロータリアン数は120万人を超えました。他方、日本のロータリアン数は、21世紀に入り減少し続け、2006年には10万人を切り、2016年5月末、日本では、89,816人です。更に、クラブの平均会員数をみますと、国際ロータリー第2710地区では1993年の63人から2013年の44人と減少しています。しかし、日本全体をみると、2015年度の会員数の推移は増加傾向にあった1991-92年度の傾向に近づいています。また、日本の女性ロータリアン数が、世界のそれと同様に増加

し続けていますが、その割合は世界の平均(1クラブ当たり平均人数割合19.92%)の4分の1(5.34%)に過ぎません。女性の入会を積極的に取り組んで頂き、クラブをより明るく魅力的にさせていただくことを要請します。

会員増強は、ロータリーの目的の遂行、クラブの維持と活性化等の観点から、ロータリーにとって不可欠です。そのためには、会員増強はロータリアンの義務として認識し、新会員数の目標とその戦略計画を定め、全会員で取り組むことが効果的です。会員増強の目的は、単に会員数を増やすことではなく、John Germ RI会長が強調している如く、将来にロータリーのリーダーとなるロータリアンを増やすことです。また、国際ロータリー第2710地区2014-15年度地区指導者育成セミナーの会員増強部門アンケート調査では、会員相互の親睦、魅力ある例会或いはクラブづくり、新会員へのフォロー、奉仕活動への積極的参加等が、会員維持・退会防止策の上位に挙げられています。

尚、2016年規定審議会の決定事項を見ますと、クラブ例会、会員身分、入会費等で柔軟性がクラブに与えられていますが、今後の会員増強・新クラブ結成に繋がるかどうかは、各クラブの判断による所が大です。

最後に、ポール・ハリス語録より「ロータリーは、適切な方式を考え出されたという事実だけで、大きくなったのではないのです。拡大しようという、たゆみない努力があったからこそ、ロータリーは世界的に影響力をもつようになったのです」My Road to Rotaryより。

### contents

【ガバナー月信2016年8月号】

ガバナーメッセージ	1	ロータリー財団部門	5
会員増強月間に因んで	2	米山記念奨学会部門	5
地区研修・協議会報告	2~5	ロータリーの友委員会報告	6
・2016-17年度 地区研修・協議会報告	2	会員基盤向上セミナー報告	6
・会長幹事部門	3	ロータリー財団寄付のお願い	6
・クラブ管理運営部門	3	会員増強・出席率	7
・会員増強部門	4	がん予防コラム	7
・公共イメージ(広報)部門	4	新会員紹介	8
・奉仕プロジェクト部門①	4	文庫通信	8
・奉仕プロジェクト部門②	5		



人類に奉仕するロータリー





## 会員増強月間に因んで

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 沖田 哲義

私の会員増強に関する考え方につきましては、本年5月15日に行われた地区研修・協議会の会員増強部門で詳細に述べさせて頂きました。その際のパワーポイントも同部門の資料として残っていますので、是非ともこれをご参考にして頂きたいと思えます。この卓話の中で、私が本当に述べたかった点がいくつかあります。しかし、今回は紙面の都合上、その内の1点についてのみお話しさせて頂きます。

それは、会員の退会防止策についてです。退会防止と増強は表裏一体の関係にあるのですが、この退会原因のなかで一番問題なのが、当該クラブ内の内的要因、即ち、クラブがちっとも「面白くない現象」によって退会することです。この面白くないと感じる「原因」としては、組織面（組織そのものと委員会配属の硬直化、会員間の派閥化）や活動面（マンネリ化）にもありますが、それ以上に問題なのは、①見習うべき（尊敬すべき）会員がいない、②自分の仕事に役立ちそうな（役だった）会員がいない、③友達になれそうな会員がいない（現に友達がいらない）、④嫌いな（嫌いになった）会員がいるという、極めて個人的なレベルの面が一番の問題なのです。そこで、私は、この解消策として、次のことを提唱しています。

### ①について

これについては、「まずもって、あなた自身が、他の皆さん

から尊敬されるロータリアンになられたらいかがですか。」と、お答えしています。そのためには、クラブ内における研修、特に職業奉仕の研修が重要になってくるものと思えます。

### ②について

これについては、クラブ内におけるロータリアン同士の「相互扶助の復活」を提唱しています。その際、この相互扶助が強制になってはいけませんが、そもそも、ロータリーは親睦と相互扶助の団体として発足したのですから、先祖返りすることも大切なことだと思っています。また、最近、行動規範の第5項（事業や職業における特典を、他のロータリアンに求めない。）が削除されたことも、大いに参考になるものと思えます。

### ③及び④について

これについては、クラブ内で常に誰彼となく意思疎通を図ることが重要だと思っています。そのためには、「飲み会」は勿論のこと、クラブ内での話し合いの場を可能な限り多く持つことが必要だと思っています。特に、新入会員や若手会員を対象にしたものを多く行うべきです。しかし、その際特に重要なことは、先輩会員が絶対に「お説教」をしないことです。

以上述べましたことは、私の単なる雑感にしか過ぎないのかも知れませんが、これによってクラブ内が大いに盛り上がることは間違いなくと思います。

以上



## 2016-17年度 地区研修・協議会報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 田原 榮一

2016-17年度地区研修・協議会が、2016年5月15日（日）、広島国際会議場で開催されました。地区から東ガバナー、大之木次年度地区研修リーダー他ガバナー関係者、地区74ロータリークラブの会長エレクトと幹事、次期ガバナー補佐、そして、次年度地区委員会リーダーを含む合計834名の

参加者に加え、第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターの高野孫左エ門氏（第2620地区DPG、甲府RC）に基調講演をお願いしました。

地区研修・協議会の目的は、クラブ会長エレクトが、PETSでの研修を土台として、さらにリーダーシップのスキルを学び、そし

て、次年度リーダー全員で次年度の目標を更に練り上げることであります。合同本会議第一部では、「次年度RIテーマと地区運営方針」において、次年度RI会長テーマ・2016年目標とガバナー信条・地区運営方針を再度強調し、更に、「サーバント・リーダーシップ」と「人前で話し方」を紹介しました。次いで、高野RPICによる講演「戦略計画とクラブの活性：公共イメージの役割」では、元気なクラブづくりにクラブはどのように取り組むべきかを、熟慮されたスライドを用いて概説され、参加者に大きなインパクトを与えて頂きました（講演PDFは地区事務局に）。

分科会の会長・幹事部門では、先ず、2016年規定審議会の主なる決定事項を報告しましたが、今後各クラブで慎

重に対応されることをお勧めします。次いで、がん予防推進委員会による「がん予防」の今後の3年間のロードマップ、そして、次年度ガバナー補佐による12グループの各クラブにおけるがん予防の取り組みとIMの企画等が報告され、がん予防推進委員会と協議しました。その他の7部門では、それぞれの基本方針と分科会テーマを充分協議され、次年度の目標を練り上げて頂きました。

最後に、会長エレクト・幹事、地区委員会リーダーの方々には、ロータリー財団100周年をお互いに共有して、RI及び地区運営方針に基づいたクラブの目標を立ち上げ、それらを見事に実践されることを強く要望します。



## 地区研修・協議会 会長・幹事部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 橋本 満

田原ガバナーエレクトより2016年規定審議会の主な決定事項について説明があり、今後各クラブの慎重な対応を推奨された。その後分科会テーマとして新規に立ち上げられたがん予防推進事業が協議された。がん予防とがん教育は、健康に生きるための地域をつくり幸せと平和をもたらす、ガバナー信条と密接に関連している。まず藤村欣吾ががん予防推進委員長（広島中央RC）から今後本事業がクラブから家庭、会社、地域、青少年へ広がってゆく3年間のロードマッ

プが示された。次いで児玉哲郎ががん予防推進委員（広島中央RC）から本事業を円滑に推進するために準備された資料の説明と、皆が自由に活用できる方法が説明された。その後各ガバナー補佐から担当クラブの本事業に関する取組状況が報告され、殆どのクラブで本事業が各クラブの特色を出しながら計画されていることが明らかとなり認識の高さが伺えた。質疑応答では本事業への問題点も指摘、討議され、かえって理解が深められた有意義な会となった。



## 地区研修・協議会 クラブ管理運営部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員長 迫田 勝明

クラブ管理運営部門の分科会は、カウンセラーの東良輝ガバナー、迫田勝明、瀬土照章、栗屋克昭の各委員と71名のクラブ出席者の参加のもとに開催された。

先立って行ったアンケートの結果から、今後当地区でも、女性会員、40代の若手会員の増強が各クラブの今後の発展に重要と指摘した。

田原年度では、基本方針として、例会の充実、ロータリアンの行動規範の唱和、CLPの勧奨、がん予防の啓発運動、

独自の戦略計画の立案が提唱されている。

この基本方針を踏まえ、特にがん予防では、禁煙運動の重要性を例に示しながら、各クラブ管理運営委員長は、幹事と共同してクラブの運営に当たって頂きたいと提唱した。

CLPの運用に関しては、クラブごとに意見の相違はあるが、有効な運用を心掛けて欲しいと訴えた。最後に、東ガバナーから貴重な助言をいただき閉会した。



## 地区研修・協議会 会員増強部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員長 土肥 博雄

会員増強委員会は会長のジョン・ジャームさんが最も力を入れているところです。この方針に基づいて、田原ガバナーは以下の方針を示されました。

「ロータリー戦略計画」の優先事項「クラブのサポートと強化」の目標は、クラブ会員基盤の拡大かつ多様化、リーダーの育成、クラブの革新性と柔軟性を育むことにあります。

会員増強には、まずは元気なクラブづくりが必要です。即ち、目標を立て、達成して、楽しく且つ活気に満ちた元気なクラブ作りを目指しましょう。

RI会長が示した数値目標に鑑み、純増2人／クラブを達成し、多様な業種及び女性会員の入会促進も重要です。ロータリー会員になるメリットを紹介し、ロータリー奉仕活動や懇親会への招待も有用です。新会員には、オリエンテーションや研修セミナーを開き、ロータリーの歴史、奉仕部門、ロータリー財団等の情報を提供し、ロータリーへの理解を深める努力をしましょう。ロータリー会員が誇りを持つため、新会員に「Proud Memberステッカー」を贈呈するなどの手法もあります。



## 地区研修・協議会 公共イメージ(広報)部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員長 竹川 誠一

公共イメージ(広報)部門の分科会報告をさせていただきます。テーマは「基本方針をもとにロータリーにおける広報の目的と重要性を理解し、情報発信の具体例を紹介していく」といたしました。

まず、徳山RCの三浦さんに事例報告をして頂きました。「マスコミを通じた認知度の向上策について」として、「TV・新聞」等のマスコミに取材依頼をする際の情報発信やニュースリリースの具体例など、とても参考になる内容でした。

次にIT委員会の柳川さん(広島中央RC)より、「RCホーム

ページの可能性」として、ホームページは会員間の情報共有、資料保存など多様な可能性がある事を発表しました。

続いてロータリーの友では澁谷さん(広島中央RC)から内容紹介、投稿を掲載されるコツなどを発表しました。

質疑応答では活発な意見交換がなされ、最後にカウンセラーの金子克也PG(福山南RC)から講評を頂き、大変有意義な分科会となりました。なお「広報委員会」は「公共イメージ委員会」に名称が変更になりました。



## 地区研修・協議会 奉仕プロジェクト部門①報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員長 村上 恒二

まず最初に、2016-17年度地区奉仕委員会カウンセラー 天野 肇 パストガバナーに「職業奉仕の実践 副題 職業奉仕を語る」と題して、参会者一同が大変感銘を受けるご講演をして頂いた。

ついで、社会奉仕の事例紹介は、上藤 潤一委員(呉南RC)から「芝桜植栽プロジェクト」と題して、地域協力団体、呉・江田高地区RCの協力による継続事業について報告がなされた。

国際奉仕事例紹介については、高田 隆委員(広島中央

RC)から「カンボジア医療支援活動・公衆衛生活動」について、尾形 聡委員(広島中央RC)から「パラオでの国際奉仕活動」について、現地RCあるいは行政との協力により大きな成果を上げていることが報告された。

最後に、「奉仕プロジェクトアンケート結果について」、委員長の村上恒二(広島中央RC)より第2710地区74RCにアンケート調査を行い、発表RCと発表者の選出を行った詳細について報告した。



## 地区研修・協議会 奉仕プロジェクト部門②報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕委員長 嶋本 文雄

青少年奉仕は、カウンセラーに金子信様(萩)をお迎えし、インターアクト委員長 梶田 滋様(広島廿日市)、青少年交換委員長大久保雅通様(広島中央)、ローターアクト委員長 吉川恵様(広島中央)、RYLA委員長嶋本文雄(広島中央)が、クラブと地区で取り組んでいる青少年のためのそれぞれのRI常設プログラムについて概説ならびに年間行事の説明を行った。第2710地区でのインターアクトクラブは、広島県11校、山口8校あり、次年度は、ホスト校 清水ヶ丘高等学校、提唱RC 呉南が、7月30日、31日第40回地区大会、1月28日 IA日韓親善歓迎

式、交流会を開催する予定になっている。青少年交換プログラムは、例年2~3名であったが、次年度は6名の高校生がアメリカとフランスとの交換派遣並びに受入することが決まっている。ローターアクトは、現在山口3クラブ、広島3クラブあり、7月2日に第1回地区協議会が、呉で開催され、2月に韓国に海外研修会の予定になっている。RYLAは、10月1日、2日ホストクラブ福山RC、コホストクラブ福山丸之内RC並びに福山ロータリーEクラブ2710によって、ツネイシしまなみビレッジで「健全なる精神は、健全なる身体に宿る」をメインテーマで開催される。



## 地区研修・協議会 ロータリー財団部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員長 伊賀 訓之

はじめに委員長よりジャームRI会長エレクトとパネルジー財団管理委員長エレクトが共同で定めた2016-17年度ロータリーの目標について説明いたしました。継続性を図るため、この11項目の目標を立てるにあたってはRIの2015-16年度目標を参考にするとともに、ロータリー財団管理委員会が承認した財団の2015年7月1日から3か年の優先項目と目標が盛り込まれました。以下にその4項目を抜粋いたします。

RI戦略計画 優先項目 1:クラブのサポートと強化

目標4 ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

RI戦略計画 優先項目2:人道的奉仕の重点化と増加

目標5 永久にポリオを撲滅する

目標8 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める

RI戦略計画優先項目3:公共イメージと認知度の向上

目標11 「世界でよいこと」を続けてきた100年の歴史における財団の功績、特にポリオプラスの成果に対するイメージと認識を高める  
その他、地区補助金プログラムの説明、グローバル補助金、奨学金について地区財団委員が説明し、田村ARRFCの講評をいただいて終了しました。



## 地区研修・協議会 米山記念奨学会部門報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員長 長場 誠

「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい。」ロータリアンはこのような強い願いから米山基金を創設しました。現代でもこの願いを踏まえて米山事業を推進する必要があります。

本分科会では、まず、直近の米山事業の説明を行い、続いて、広島大学大学院博士課程の李 在鉉君(広島中央RC)、徳山大学経済学部の西 烈華さん(徳山セントラルRC)からロータリアンに対するお礼や研究内容についての講話をして頂

き、西さんのカウンセラーである赤穴 治様より、奨学生との関わり等についてお話して頂きました。その後、米山学友会の島崎高志様(東広島RC)、広島大学外国人研究員で米山親善大使の楊 小平様から活動報告等を行って頂きました。

最後に、地区米山記念奨学委員長の浅山琢也様の講評があり、無事に分科会を終了することができました。

参加された方々のご尽力により、有意義な分科会を開催することができました。ありがとうございました。



## ロータリーの友委員会オリエンテーション報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリーの友代表委員 澁谷 紀子

2016年5月16日、メルパーク東京で次期地区代表委員のオリエンテーションが開催され、委員長をはじめ編集部職員・2500～2740地区の代表委員約30名が一同に会し、「ロータリーの友」の意義、新年度の方針、編集企画について説明を受け、情報交換しました。

新年度の友誌は表紙を変更し、サイズもA4判になります。ホームページも「ロータリーの友」に統合、電子版の購読も可

能ですし、広報としても機能するように構成されます。「心は共に」は継続しますが、新企画の連載もあります。また、「ロータリー日本100年史」の編纂も進めます。

委員は「友」に関する代理者としてガバナーと連携して刊行物の活用促進を図り、活動状況の情報を収集し、取材に協力します。また、毎号リポートを提出し、合同会議ではガバナーの意向を踏まえた提言を行います。



## 国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン 会員基盤向上セミナー報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 田原 栄一

2016年4月4日～5日、ホテルオークラ東京別館で「会員基盤向上セミナー」が開催、第一日目の「会員増強維持・戦略計画とクラブ活性化の部」では、元RI理事の小沢一彦氏による講演「私が考え実践した会員増強」があり、その後、パネルディスカッション「戦略計画実践例」、会員基盤向上に資する「公共イメージ向上」についての7名のARPICあるいはRPICの講演、更に、「会員基盤向上の実践」等について報

告。第2日目の「ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践」では、田村泰三ARRFC(RI2710DPG)の司会で、「RIコーディネーター研修報告」、「年次基金0寄付クラブ解消」、「平和フェローの実践」、「ポリオの現状とお願い」等の報告。今度のセミナーを通して、会員増強維持には、クラブの戦略計画と公共イメージ向上が如何に重要かを痛感しました。



## ロータリー財団寄付のお願い

地区ロータリー財団委員長 伊賀 訓之

### ■2016-17年度地区ロータリー財団寄付目標

ポリオプラス基金	35ドル以上/1人
年次基金	150ドル以上/1人
恒久基金	ベネファクター1人以上/クラブ、または1,000ドル以上/クラブ

大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)  
冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

### ■自動定期寄付

自動定期寄付は、オンラインでお申込みいただけます。下記のアドレスから寄付の種類を選択後、順次寄付ページを進んで下さい。

<http://www.rotary.org/ja/CONTRIBUTE>

この寄付方法では自分に合った寄付額と寄付頻度が設定出来、手続きにかかる手間が省けるだけでなく、安全な方法で自動的に寄付することが可能になります。ご協力宜しくお願いいたします。

## 国際ロータリー第2710地区 2015-16年度会員増減・出席率(2016年6月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	88.31	27	27	5	3	3
	下関	81.28	47	50	1	8	5
	下関中央	82.88	29	31	6	2	0
	下関東	82.84	59	55	2	2	6
	下関北	91.60	42	43	0	2	1
	下関西	84.72	35	35	1	2	2
	油谷湾	90.93	7	0	0	0	7
	計	86.08	246	241	15	19	24
2	萩	95.84	55	54	0	5	6
	萩東	100.00	20	20	1	2	2
	美祢	81.19	23	23	0	4	4
	小野田	84.56	40	35	2	3	8
	宇部	94.09	46	46	3	5	5
	宇部東	68.89	14	14	1	2	2
	宇部西	91.03	52	55	3	4	1
	計	87.94	250	247	10	25	28
3	防府	98.35	51	54	0	9	6
	防府北	88.22	18	17	1	1	2
	防府南	100.00	36	34	6	2	4
	山口	93.03	52	55	3	7	4
	山口県央	95.72	37	32	1	2	7
	山口南	92.57	41	43	4	3	1
	計	94.65	235	235	15	24	24
4	光	95.32	41	47	0	7	1
	周南西	95.90	47	45	3	3	5
	徳山	96.66	50	45	1	6	11
	徳山セントラル	92.44	29	26	0	1	4
	徳山東	95.23	51	52	0	1	0
計	95.11	218	215	4	18	21	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
5	岩国	77.71	64	61	0	5	8
	岩国中央	89.42	39	42	3	5	2
	岩国西	87.63	54	59	4	8	3
	柳井	100.00	32	33	2	6	5
	柳井西	96.80	27	27	1	3	3
	計	90.31	216	222	10	27	21
6	広島	99.52	115	119	1	20	16
	広島安芸	96.62	37	39	2	2	0
	広島安佐	93.23	21	24	1	3	0
	広島東	99.16	97	99	6	10	8
	広島北	99.98	85	86	0	7	6
	広島陵北	97.64	52	52	3	4	4
大竹	88.63	33	33	0	1	1	
計	96.40	440	452	13	47	35	
7	広島中央	100.00	74	79	7	7	2
	広島廿日市	88.71	35	36	1	1	0
	広島城南	99.33	57	54	3	3	6
	広島南	92.12	88	87	0	8	9
	広島東南	100.00	90	95	11	7	2
	広島西南	100.00	62	65	3	5	2
広島西	100.00	74	84	0	15	5	
計	97.17	480	500	25	46	26	
8	江田島	89.40	16	17	1	4	3
	東広島	98.67	30	33	3	3	0
	東広島21	82.79	17	16	3	2	3
	呉	90.54	72	68	1	5	9
	呉東	95.20	31	31	0	3	3
	呉南	92.44	54	57	3	3	0
西条	99.81	39	41	3	7	5	
計	92.69	259	263	14	27	23	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
9	広島空港	84.88	22	24	2	2	0
	因島	89.20	21	20	0	0	1
	三原	89.14	63	58	1	2	7
	尾道	83.27	78	79	2	7	6
	尾道東	90.72	51	49	1	1	3
	瀬戸田	87.50	7	6	0	0	1
竹原	91.07	37	36	4	4	5	
計	87.97	279	272	10	16	23	
10	府中	90.32	30	29	0	0	1
	福山	95.50	81	79	0	9	11
	福山東	89.44	50	50	3	2	2
	福山丸之内	95.01	33	33	1	0	0
	鞆の浦	83.78	23	24	0	2	1
	福山REC2710*	100.00	24	23	2	1	2
計	92.34	241	238	6	14	17	
11	福山赤坂	79.60	40	46	6	7	1
	福山北	91.25	48	44	0	1	5
	福山南	86.96	58	56	2	3	5
	福山西	95.09	45	44	3	2	3
	松永	89.28	51	53	2	3	1
	計	88.44	242	243	13	16	15
12	吉舎	96.80	18	17	0	0	1
	三次	85.41	41	40	0	5	6
	三次中央	91.41	42	42	5	3	3
	庄原	88.13	34	35	4	3	2
	東城	91.02	21	20	1	0	1
計	90.55	156	154	10	11	13	
第2710地区計	91.52	3262	3282	145	290	270	

\*正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」



### がん予防コラム

## がんとはどのようなものですか？

地区がん予防推進委員長 藤村 欣吾

私たちの体は約60兆個の細胞で構成されています。これらの細胞は一定の速度で分裂・増殖し、病気による細胞の数的減少を補い、あるいは、組織や臓器の成長や加齢に応じて細胞の数を維持しています。

すなわち正常の細胞増殖には制御機構が働いています。

この細胞増殖にかかわる制御機構が破たんし、自分勝手に細胞が増殖し続ける病変が腫瘍です(自律的な細胞増殖といいます)。1951年にある人の子宮頸がんの細胞が細胞株として樹立されて以来現在まで試験管内で増殖し続け、がん研究に使用されています(ヒーラ細胞)。このことは60年以上子宮頸がん細胞が分裂増殖を行っていることを示し、まさに不死の細胞でこれが“がん細胞”の実態なのです。

腫瘍にも直接個体を死に導かない良性腫瘍と、細胞の異

常増殖があちこちの部位に起こり(転移)最終的に死に至らしめる悪性腫瘍があります。腫瘍には腫瘍が由来した組織によって上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍があり、前者は主として表皮、消化管、気道、尿路などの粘膜、腺組織から発生した腫瘍(例えば胃がん、肺がん、など)、後者は造血組織、骨、筋肉、リンパ組織、脳などから発生した腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、など)を指します。

悪性の上皮性腫瘍を“がん腫”、悪性の非上皮性腫瘍を“肉腫”といいます。

“がん”はこの悪性腫瘍全体を意味し、悪性新生物とも呼ばれています。

今回はどのようにして細胞増殖の調節機構が利かなくなるのか解説します。

## 新会員紹介



湯浅 寛紀  
萩RC  
2016年7月7日  
信用金庫



岸野 豪  
美祢RC  
2016年6月7日  
石灰製造販売



榎田 洋一  
山口RC  
2016年6月1日  
事務用機器販売



大庭 典夫  
山口RC  
2016年6月15日  
広告宣伝



下藪 和也  
山口RC  
2016年5月11日  
衛星通信



瀬川 博行  
山口南RC  
2016年6月10日  
飲食業



浅川 和彦  
徳山RC  
2016年6月23日  
火災保険



普喜 智明  
徳山東RC  
2016年5月11日  
証券取引



榎本 好一  
広島東RC  
2016年6月8日  
商社



河野 綾子  
広島城南RC  
2016年6月10日  
士業業務補助サービス



梶山 晃雄  
三原RC  
2016年6月28日  
内科医



江口 史憲  
三原RC  
2016年6月28日  
私立学校



河田 将人  
福山RC  
2016年6月6日  
機械工業



馬場 孝之  
福山RC  
2016年6月20日  
損害保険



石井 嘉和  
福山北RC  
2016年7月1日  
証券業



福田 敬志  
松永RC  
2016年6月27日  
食品加工卸



佐藤 修  
松永RC  
2016年6月27日  
金属加工



中島 清貴  
三次中央RC  
2016年6月6日  
鍼灸師

### 文庫 通信

346号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

#### デジタル化されたロータリー文献(4)

「ロータリーにおける歴史の重要性」	平島健次郎	1973	53p	(関西ロータリー研究会)
「ロータリーの国際奉仕」	佐竹郁夫	1979	20p	(旭川R.C.)
「“ロータリー・徽章の物語”-ロータリーの歴史の歩みと共に-		1980	94p	(長崎南R.C.)
「合理化時代と職業奉仕」	西村祥三	1983	24p	(関西ロータリー研究会)
「ロータリーは何をしているか」	鳴海淳郎	1986	19p	
「新会員のためのロータリーの歴史」	佐藤 信	1987	48p	
「米山梅吉翁物語」		1989	26p	(長泉R.C.)
「ロータリー事始」	佐藤 信	1996	38p	(福島南R.C.)
「ロータリー雑学のすすめ」		1996	86p	(長崎南R.C.)
「ロータリーマジック」	江崎柳節	2010	197p	

[上記申込先]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL:(03)3433-6456・FAX:(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー  
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F  
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/